

記念の盾などを手にする押切選手、田村村長、石澤選手、及川選手（左から）



石澤、押切選手に 村民栄誉賞授与

で内
告報
札
中
五
輪

【中札内】ソチ冬季五輪
のスピードスケートに出場
した石澤志穂、押切美沙紀、
及川佑の村ゆかりの3選手
を招いた五輪報告会が21
日、中札内文化創造センタ
ーで開かれ

た。村出身の
石澤、押切両
選手には、第
1号となる村
民栄誉賞が贈
られた。
村民栄誉賞
は今回創設さ
れ、ともに中
札内中学校卒
業の両選手へ
の授与は10日
の村表彰選考
委員会が決ま
った。報告会
は「応援する

会」(三木広美会長)が主
催し、村内に両親が住む及
川選手を含めて3人を招い
た。

約100人の村民が拍手
で迎え、田村光義村長が両
選手に記念の盾を贈った。

及川選手は同五輪出場の日
本人全スピードスケート選
手のサインを村に寄贈し
た。

田村村長は「石澤、押切
両選手が努力して夢を実現
した姿は、村の子供に将来
の夢と希望を与えた。及川
選手の滑りにも興奮と感動

を受けた」と祝福した。

石澤選手は「あと一步で
入賞できず悔しい思い。五
輪の舞台に2回も立てたの
は、小学校のときにリンク
を造ってくれた父兄の方々
のおかげ。感謝の気持ちで
いっぱい」と話した。五輪
初出場の押切選手は「世界
との差を実感した。4年後
はさらに成長し、力をつけ
てオリンピックの舞台に戻
りたい」、及川選手も「た
くさんの方の後押しでスタ
ートラインに立てたことは
幸せ。これからも新しい目
標に向かって進みたい」と
抱負を述べた。(小林祐巳)